



冬休み直前号しらほだい

令和3年12月24(金)

校 訓 やさしく かしく たくましく

「今年も感謝」

内灘町立白帆台小学校 校長 岡田 秀

年の瀬という言葉には、あわただしさの中にもどこかゆったりした感があって、風情のあるいい響きの言葉だなと毎年感じています。もうすぐ新しい年になって、これまでがリセットされるよ、うまくいかなかった人も嫌なことがあった人もみんなでやり直そうよ、みたいな希望に溢れた言葉にも聞こえるのです。皆さんはどうでしょうか。



「冬はつとめて。雪の降りたるは、いふべきにもあらず。霜のいと白きも。」
一冬は早朝がよい。雪が降っている早朝は言うまでもない。霜の降りた早朝もよいものだ。－

清少納言さんはそういうのですが、私としては、一年を通して早朝よりも夜が明けるか明けないかくらいの白々としてくるあたりの時間帯の方がよいのでは…と思っています。特に年の瀬を控えたこの時期は、一年で一番朝が遅い。その分、新鮮な空気を吸い込めて、日によってはきれいな星や月が見られて、歩いている自分たち(犬二匹と私)の足音がよく聞こえて…。一日の中で一番素直に物事を考えられる時間にもなっています。

子どもたちはどんな成長をしたかな、と学年ごとにまた幾人かの個人の顔を思い出しながら、凜とした空気の中を歩きます。

人の成長って、毎日見ていると気づかないことが多いですが、子どもはやはりよく伸びますね。どんどん吸収して成長していますね。体も頭脳も心も…。そうやって成長してきた一年間を感謝して振り返ることは、とても大切だと思います。周りにいるいろんな人たちのお陰で成長させてもらっているな、ということに気づいてほしいと思っています。

今年もあと一週間を残すのみとなりました。保護者の皆様、防犯ボランティアや図書ボランティアの皆様、更には地域の皆様のお陰で、本年の年の瀬も無事に迎えることが出来そうです。深く感謝申し上げます。

皆様におかれましても、どうか良い年が迎えられますよう、お祈り申し上げます。

12月号でもお知らせしましたように、しらっこ大感謝祭(6年生を送る会)が2月17日(木)に開催されます。これまで、白帆台小学校を支え、リードしてきた6年生への感謝の会です。5年生以下の子どもたちが精一杯の思いを込めて当日を迎えます。さあ、今年はどんな素敵な贈りものを見せてくれるのか楽しみです。

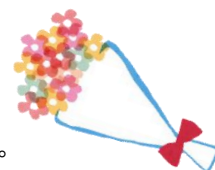
ただ、今年もコロナ対策のため、保護者の皆様(1家族2名まで)には、前日2月16日(水)のリハーサルを観ていただくこととなります。何とぞご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

各学年のリハーサルは次のような時間帯を予定しています。

8:50～：4年生 9:25～：3年生 10:00～：2年生

10:35～：1年生 11:10～：5年生 11:45～：6年生

なお、詳細につきましては3学期に入ったらお知らせいたします。



久下恭功内灘町教育長が、任期満了の今月21日をもって離任されました。これまで9年間、私たち学校現場を力強くリードし、支えてくださることで内灘町の学校教育を創りあげてくださいました。心から感謝申し上げます。

代わって、現在内灘町教育センター所長の桐山一人元清湖小学校長が就任されました。また新たな内灘町の学校教育を構築してくださることと思っています。